## 魚島離島留学

### 「手巻き寿司」と「大豆の煮物」

季節の移ろいは早いもので、新年を迎えたと思ったら、もう立春も過ぎて魚島小・中学校の校庭にある梅の花は三分咲き、間もなく桜の季節となりそうです。

2025年の節分は暦の関係で1日早い2月2日でした。魚島では節分に目付き鼻突きを玄関に魔除けとして掲げます。よく聞く柊と鰯の頭と同じ意味ですが、所変われば品変わる！で、私は初めて見ました。節分の当日、さざなみ寮の夕食は、「手巻き寿司」と「大豆の煮物」でした。留学生（7名）は、それぞれが好きな具材をお好みで巻いて、恵方を向いて心の中でこれから1年の抱負や願いを祈りながら全員が黙々と食していました。何を祈っていたのでしょうか？・・・今後も季節を示す二十四節気（にじゅうしせつき）や雑節（ざっせつ）を大切にしながら、学んでいきたいと思っています。

目付き鼻突き▶

ハウスマスター　岩谷　弘一

## 公営塾

### 数学の土台をしっかりと

ゆめしま未来塾の辻村です。今年1月から、高校1年生向けに数学基礎講座を開講しました！

突然ですが、町の皆さんは学生時代、数学はお好きでしたか？得意だった方もいれば、苦手で苦労した方もいらっしゃるかもしれませんね。数学は積み重ねが大切な教科で、基礎がしっかりしていないと、学年が上がるにつれて「わからない…」が増えてしまいます。特に計算力や基本的な考え方が身についていないと、応用問題を解くのも難しくなります。そこで、今回の講座では、数学の土台を固めることに重点を置き、計算の基本や重要な考え方を丁寧に学んでいます。ゆめしま未来塾では、基礎をしっかり身につけることを大切にしながら、塾生たちが自信を持って学びを進められるようサポートしています。今後も、地域の皆さんとともに、子どもたちの成長を支えていければと思います。

ゆめしま未来塾　辻村　大樹

## 鳥獣対策ジビエ振興

### あたふた日記⑦　肉食万歳！！幸せ気分？！

鳥獣被害対策・ジビエ振興担当の藤原でございます。

この間年が明けたかと思うと、もうめっきりと春の訪れですね。今年は年明けから、やけに肉食生活が続いています。お付き合いの機会も多く、焼肉・焼き鳥・お鍋、そして市場調査も兼ねてシシ肉・シカ肉・キジ肉の試食などなど・・・。違った意味で“肉食系男子”になっています。肉食は不健康の代名詞として忌避される一面がありますが、よくよく考えるとお肉を食べると幸せになります。「なんじゃそりゃあ～。」と言う方もいるかと思いますが、実は根拠があります。お肉に多く含まれるトリプトファンとビタミンB6は体内で幸せホルモンと呼ばれる「セロトニン」という物質が作られます。セロトニンは怒り・焦り・不安を抑制して精神を安定させる働きがあり、ほっこりとした気持ちになり幸福感を得ることができるそうです。特にイノシシ肉は、普通のお肉よりビタミンB6、B12が豊富なため、疲労回復＋幸福度倍増！！「爆食ジビエ万歳～」って感じです。

先日久しぶりに元同僚に会った時、「最近、藤原も“丸く”なったね。」と言われました。上島町に移住して早や2年、人として一回り大きく成長したのかな・・・？

「もしかして、体型のことかぁ？！」

合掌

鳥獣対策ジビエ振興　藤原　隆司





# 島おこし協力隊ミッション ミニコラム 23

## 『上島町島おこし協力隊 活動報告会』

▲ 鳥獣対策ジビエ振興の発表

皆さん、こんにちは。弓削高校魅力化コーディネーターの河村です。今回は2月9日（日）、せとうち交流館で開催した「令和6年度上島町島おこし協力隊活動報告会」についてお伝えいたします。各協力隊が昨年度1年間の活動実績を町民の皆さまに発表する企画で、当日は約50名の方に足を運んでいただき、魚島小中学校の児童・生徒にも参加していただきました。

報告会では、全7ミッション（弓削高校魅力化コーディネーター、移住定住支援・空き家バンク運営、サイクリング振興、鳥獣対策ジビエ振興、ゆめしま寮ハウスマスター、魚島離島留学、ゆめしま未来塾）の活動に取り組む11名の協力隊が発表し、活動実績のほか、上島町に移住した理由やミッションを進める中での課題・問題点、今後の展望などをスライドを使って報告しました。

魚島離島留学の発表では、離島留学生の寮でハウスマスターを務める岩谷弘一隊員と梶浦智恵美隊員が、SUPや平目放流体験、しめ縄作りなどの地域の特性を生かしたイベントを企画し、地域住民と寮の子どもたちが一緒にイベントを楽しんだ様子を紹介。「パワフルな母ちゃん（梶浦隊員）と真面目な父ちゃん（岩谷隊員）で子どもたちを見守っています」と来場者に伝えました。この日、会場に来ていた魚島中の生徒からは「母ちゃんはおいしい料理を作ってくれたり、相談に乗ってくれたりする。父ちゃんは夜型だった私の生活習慣を、規則正しくなるように指導してくれた」などと絆の強さが垣間見え、会場は温かな空気に包まれていました。

高校魅力化コーディネーター　河村　俊秀

全体のアンケートでは、「広報で読むより、実際に聴講することで（協力隊の活動に）力強さを感じた」、「皆様いろんなことに頑張っていることに感謝ばかりです」など励みになる言葉や「協力隊の方と地元の人がもっと交流できる機会があればよい」と貴重なご意見もいただきました。協力隊の活動が地域の課題解決につながるように協力隊同士で連携を取りながら有効な施策を実施していきたいと考えております。今後とも島おこし協力隊をよろしくお願いいたします。報告会に足をお運びいただきありがとうございました。

▲ ゆめしま未来塾の発表

▲ 魚島離島留学の発表